



## FIRE DEPARTMENT 3大施設機能～3 Facilities～

### F 災害拠点施設 Disaster site Facilities

- ・安全で耐久性の高い構造
- ・情報化に対応し、災害を防止
- ・災害活動用資機材の集約・保管
- ・出動動線の確保と執務環境整備
- ・被災による消防機能の消失を防ぎ、継続した消防活動を保持



### 【強くしなやかな消防庁舎】

町内の消防防災活動拠点施設であり、平常時から住民に対して防災力を提供できる災害時に強い施設として寄与する。



### 消防団活動の拠点施設としての機能強化

- ・教育、訓練機能
- ・情報発信機能
- ・出動待機室整備
- ・地域防災の強化
- ・女性の利便性向上



### 上士幌消防団

地域防災の中核を担い、火災や大規模災害時の迅速な避難誘導・支援及び救出活動を行う、代替性のない団体



### F 訓練施設 Training Facilities

- ・実践的な消火訓練、救助訓練
- ・住民の防災教育
- ・住民の初期消火、救急訓練
- ・各種防火団体等の育成
- ・消防防災に関する行事



### F 人と環境にやさしい施設 Everyones Facilities

- ・ユニバーサルデザインの採用
- ・防災展示コーナーの設置
- ・一般利用可能なトレーニング室
- ・省電力、冷暖房効率に配慮
- ・窓口サービスの提供
- ・事務効率化の工夫



立地環境を活かし、消防署を中心とした複数の公共施設と連携することで、持続的な災害対策を展開できる。(生涯学習センター・交通ターミナルスポーツセンター等)



立地環境を最大限に活かした安全・安心の防災拠点として機能し、平常時は自主防災意識や地域住民などの教育・訓練、集いの場として、町民に開かれた消防防災施設を整備する。



### ●公共施設としての位置づけ（上士幌町の公共施設等配置計画に関わる整備方針より）

セントラルベルトでは、多世代交流拠点、修学拠点、レクリエーション拠点、交通拠点、商業・まち中居住拠点、運動・健康維持拠点、および積極的未利用地を定めてきたが、将来の安全・安心な町民生活を確かなものとするべく、防災・安全機能の充実が求められる。防災・安全拠点の要として、消防署が果たすべき役割が重要であることは言うまでもなく、特に救急救命および防災・災害復旧において、効果的・効率的に機能することが求められる。新消防署の建設にあたっては、拙速な移転は可能な限り避け、将来数十年先の生活の質の向上に資するセントラルベルトへ積極的に貢献するビジョンを持った整備計画が望まれる。